

2020年6月19日

報道関係各位

一般社団法人全国物流ネットワーク協会

トラックドライバーの働き方改革を推進するインフラ整備を国土交通省道路局長へ提言

一般社団法人全国物流ネットワーク協会(本社:東京都渋谷区・会長:森 日出男 以下全流協)は、ダブル連結トラックの高速道路における駐車スペース等について、6月18日(木)14:00 国土交通省道路局長室において、池田道路局長に下記のとおり提言を実施いたしましたので、お知らせします。

記

1. 背景

物流業界の労働力不足が深刻化する中、一般社団法人全国物流ネットワーク協会では、ダブル連結トラックを活用した共同輸送を2019年3月より開始し、省人化、CO2排出削減、ドライバーの待遇改善等に大きな効果が確認されています。

しかし、その拡大を図っていく中で、あらたに高速道路の駐車スペース等の課題を抱えております。

今後、永続的に日本の物流を支えていく為には、その課題解決に向けたインフラ整備が必要であると考え、今回以下の提言をするにいたしました。

2. 提言の内容

提言1 輸送生産性や働き方改革を推進するための中継拠点の整備

- ・ ドライバーの交替、またはトラクタヘッド交換が実施できる中継拠点の整備をお願いしたい
- ・ 中継拠点から最寄りのインターチェンジまでは特殊車両が通行することも考慮願いたい

提言2 ドライバーが確実に休憩機会を確保できるよう、新たな駐車スペースや駐車場予約システムの整備

- ・ 「ダブル連結トラック」の対象路線・区間に新たな駐車スペースをお願いしたい
- ・ 「ダブル連結トラック」の対象路線・区間のSA・PAに予約システムの整備をお願いしたい
- ・ 高速道路上での中継拠点として活用するために、集約型SA・PAに整備をお願いしたい

提言3 高速道路からの一時退出を可能とする「賢い料金」の適用範囲拡大

- ・ ETC2.0の利用を前提として、休憩、中継輸送のための一時退出に関して、「賢い料金」の適用範囲の拡大をお願いしたい

3. 出席者

国土交通省 : 国土交通省道路局長 池田豊人

全国物流ネットワーク協会: 会長 森 日出男、専務理事 山内 信幸、理事 松田 弘士



左から、

全国物流ネットワーク協会 専務理事 山内 信幸

国土交通省 道路局長 池田 豊人氏

全国物流ネットワーク協会 会長 森 日出男

全国物流ネットワーク協会 理事 松田 弘士

以上